

平成27年度 学校評価実施報告書

3 2回目評価

<ul style="list-style-type: none"> ・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定 					<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理 	
	分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	
1 確かな学力	自ら進んで学習に取り組む子の育成	共働して力いっぱい活動し、達成感・成就感を味わう体育学習各学年授業研究	・全国学力学習状況調査 ・ジョイントプログラムの結果 ・児童の共働活動における変容	1月のジョイントプログラムでは、全学年、全市平均を下回った。5ポイント以上下回った教科もあった。	⇒	・全般的に積極性に欠ける部分がある。 ・テレビやゲームの時間等の約束が守られているかの項目で約半数が「あまりそうは思わない」以下の回答となっている。ジョイントP、家庭学習、読書等に影響しているように思われる。家庭と連携して取り組むべき課題である。
	家庭学習の習慣化	学習予定表の活用 自主学習の推進 「学びの手引」の活用	お子様は、家庭学習を自分からしていますか。	「そう思う」保護者の回答率は37%	⇒	・学力向上に向けて、児童の意識の改革が必要である。 ・目的意識をもって、学習活動に取り組むことを大事にしていく。 ・授業の中で、話し合い活動を積極的に取り入れたり、課題設定、情報収集等自ら課題に迫る授業形態にしたりすることで、自分から進んで学習できるようにする。
	読書の習慣化	100冊読書の定着 朝読書の確実な実施	読書は、好きですか。	「よくできている」児童の回答率は28%	⇒	・放課後まなび教室には、低学年を中心に多数児童が参加した。様々な活動を取り入れ、楽しみにしている児童も増えた。 ⇒ ・今年度も全員100冊読破できたのは良かった。 ・引き続き、図書室の整備を図っていきたい。
2 豊かな心	道徳教育の充実	各学級、年3回道徳・年2回学級会の授業公開	児童の話す・聞く態度の変容	全学級の公開授業を実施 友だちの意見を聞いて、自分の思いを発表できるようになってきた。	⇒	・道徳、学級会の授業公開をする中で、自分の思いをのべたり、友だちの意見と比べたりしながら学習を進めることができた。 ・学校行事や児童会活動を通して、高学年児童をリーダーとして十分に育てることができなかった。 ・学校のきまりについては、十分指導できていない部分もある。
	学校のきまりの徹底	あいさつ、廊下歩行、掃除、給食、時間遵守等全教職員で指導	児童の学校生活での状況把握	徹底には至っていないが前期以上の成果が見られた。	⇒	・引き続きコミュニケーション能力を育てることを意識して授業に臨むようにする。 ・学校のきまりについては、全教職員が同じスタンスで指導するようにする。 ・学校行事で、達成感、成就感を味わうことができるよう、その進め方を工夫していく。
	人権教育の推進 (心を育てる学校行事)	「まつとー」の取組、育成学級との交流、いじめ防止等の対策	・取組、対策の実施状況 ・行事は、お子様の力を育てるために効果的であると思われますか。	「そう思う」保護者の回答率は66%	⇒	学校運営協議会の心すこやか部会によるあいさつ運動時には、児童も元気に挨拶を返していた。標語を記載したティッシュ配布も効果があった。
3 健やかな体	基本的生活習慣の確立	早寝・早起き・朝ごはんの奨励、おはようおやすみチェックの活用	お子様は、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身についていますか。	「そう思う」保護者の回答率は29%、児童の回答率は30%	⇒	・朝繩跳びは、タイムや距離にチャレンジすることなどを取り入れ、意欲的に取り組めるようにする。 ・朝全校繩跳びを実施した。
	体力の向上 安全・健康のすすめ	体力づくりの推進(マラソン、なわとび)各種記録会への積極的参加	・記録会等の参加状況及び体力テストの結果 ・お子様は、体力が向上したと思われますか。	「そう思う」保護者の回答率は38%	⇒	・高学年になると生活習慣が乱れる児童もいる。「早寝・早起き・朝ごはん」をもっと呼びかける必要がある。 ・地域の取組やイベントへの参加を呼びかけてはいるが、より一層強化していきたい。 ・生活習慣についても学校と家庭、地域のさらなる連携が必要である。
4 独自の取組	小中一貫教育の推進	全員研修会の実施 部会研究 漢字検定、天体観望会	・部会研究の達成状況 ・漢字検定、天体観望会の参加状況	冬季研修会の実施 小中で授業研究会の交流を実施	⇒	・朝繩跳びは、タイムや距離にチャレンジすることなどを取り入れ、意欲的に取り組めるようにする。 ・学校からの広報活動については、「大体そう思う」以上の回答が97%となり、分かりやすい工夫がされている。 ・研修を通して、中学校区4校で課題を明確にし、学習や規律等について今後の方針性について話し合った。
	情報発信の充実	積極的なホームページの更新	学校ホームページへのアクセス数	本年度アクセス数約24000回	⇒	・学校の取組や児童の様子等がよくわかるようにホームページを工夫する。ただ、写真や文で個人が特定されることがないように十分配慮していく。 ・将来の統合を見据えて、小中一貫教育研修会の持ち方を考えていきたい。
	保護者・地域との連携強化	広報活動の充実 地域・PTA活動への参加	学校の取組を学校便り等でお知らせしていますが、分かりやすい説明になっていますか。	「そう思う」保護者の回答率は28%	⇒	・保護者が参加する行事等はできるだけ早めに知らせてほしい。 ・ホームページは頻繁に更新されており、学校の様子がよくわかった。これからも続けてほしい。

4 総括・次年度の課題

学習面では、基礎基本の定着が課題である。何事にも受け身の児童が多く、自分の思いや意見を表現することに臆する。学習態度においてもけじめがつきにくく、学習課題をやり切ろうという意欲に欠ける。次年度は、児童が主体的に学習し、その中で考え方や結果等について自分なりに説明したり、話し合ったりする力を育てたいと考える。そのために、姿勢等の学習規律から、徹底して見直していきたい。姿勢を正すことから、丁寧なノート作りの指導を行い、そこから学習全般に粘り強く取り組むことができる姿へとつなげていきたい。教職員においても校内研究をより充実したものにしていく。めざす子ども像に近づけるため、常に教育目標、研究テーマを意識しながら、達成に向けて取り組む体制を研究部を中心に組んでいきたい。そして、保護者・地域の方にも取組を理解していただき、家庭での過ごし方、生活習慣等について協力や支援が得られるような学校運営にあたっていきたい。

学校名(京都市立京北第一小学校)

学校関係者評価	
評価日	平成28年3月17日
評価者(いずれかに○)	学校運営協議会 学校評議員

| 学校関係者評価による意見 | 学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策 |